

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2017年3月

主な出来事

- 2日、野党プラットフォーム「Rassemblement」を構成する9つのプラットフォームは、同プラットフォームの再構成を協議、フェリックス・チセケディ UDPS 副幹事長を総裁に、ピエール・ルンビ MSR 党首を賢人委員会委員長に任命した。
- 4日、コンゴ(民)国家警察(PNC)は、Bundu Dia Kongo(BDK)の精神的指導者であるムアンダ・ンセミとその信奉者らに対し急襲作戦を実施、ンセミ指導を確保した。
- 6日、故チセケディ UDPS 党首の実弟であるムルンバ司教は、11日に予定していた「チ」党首の遺体の帰国は無期限に延期されると発表した。「チ」党首の遺体埋葬地としてキンシャサ市当局が選んだゴンベ墓地に対し、一部家族や UDPS 党員が反対したことが理由。6日、上記発表を受け、キンシャサ市当局は、ゴンベ墓地の特別区画建設工事の取り止めを命じた。
- 13日、バンバラ MONUSCO 報道官は、2名の国連安保理コンゴ(民)制裁委専門家(Michael Sharp 氏と Zaida Catalan 女史)が、中央カサイ州チンブルで12日から行方不明になっていると発表した。メンデ・コンゴ(民)政府報道官によると、行方不明者の国籍は米国とスウェーデンで、4名のコンゴ人も同時に行方不明となった。28日、メンデ政府報道官は、行方不明となっていた2名の国連専門家が遺体で発見されたと報じた。
- 27日、PNC は、カサイ州チカパ市から中央カサイ州カナンガ市に向かっていた警察車両2台が待ち伏せにあり、カムウィナ・ンサプの民兵と思われる武装集団により警察官が殺害・斬首された可能性に関し、殺害された警察官は39名で、殺害現場に近い共同墓穴に埋められたと発表した。
- 27日、コンゴ・カトリック司教会議(GENCO)のウテンビ議長は、同日の合意署名を目指していた、昨年12月31日の政治合意に関する個別調整の調停が不調に終わったとスピーチで述べた。
- 28日、GENCO のウテンビ議長を団長とする司祭らはカビラ大統領と会談を行った。

1. 内政

(1) EU 外務理事会の結論文書に対するコンゴ(民)政府の反論

・6日、コンゴ(民)政府は、EU 外務理事会の結論文書を受けて発出した外務・地域統合省名のコミュニケで、昨年12月31日の政治合意に関する実施状況は停滞しておらず、EU が、制裁を示唆するような脅迫的態度を変えない限り、コンゴ(民)は何らかの結果を導くことになるかと反論した。

(2) 通常国会が開幕

・15日、通常国会が開幕し、午前には上院、午後には国民議会で開会式が催された。ミナク国民議会議長は、今期国会では、昨年12月31日の政治合意に基づいた新政府の発足に注力、選挙の実施に捧げる会期とすると述べた。

(3) カビラ大統領が今年初となる機関間会議を主催

・21日、カビラ大統領は、国内状況の定期評価の一環として、今年初となる機関間会議(reunion interinstitutionnelle)を主催した。

(4)カビラ大統領とコンゴ・カトリック司教会議(CENCO)が会談

・28日、昨年12月31日の政治合意における調停を行ったコンゴ・カトリック司教会議(CENCO)のウテンビ議長を団長とする司祭らはカビラ大統領と会談を行った。同日夜、大統領府はコミュニケで、大統領は近日中に議会で、国民に向けた演説を行うと発表した(同演説は4月5日に実施された)。

(5)野党の動向

ア 野党プラットフォーム「Rassemblement」の新体制発表

・2日、野党プラットフォーム「Rassemblement」を構成する9つのプラットフォーム(UDPS、G7、野党連合ダイナミック等)は、「Rassemblement」の再構成を協議し、フェリックス・チセケディ UDPS 副幹事長を「Rassemblement」総裁に、ピエール・ルンビ MSR 党首を「Rassemblement」賢人委員会委員長に任命した。総裁は同プラットフォームの「政治面」を対外的に代表し、賢人委員会委員長は「戦略面」において、12月31日の政治合意の実施にかかる事項と、合意フォローアップ国家評議会(CNSA)議長の役割を担う。とはいえ、プラットフォーム所属の数人の党首は、今回の決定に反対の姿勢を示している。

イ 故チセケディ UDPS 党首の遺体の帰国は無期限に延期

・6日、故チセケディ UDPS 党首の実弟であるムルンバ司教は、11日に予定していた「チ」党首の遺体の帰国は無期限に延期されると発表。「チ」党首の遺体埋葬地としてキンシャサ市当局が選んだゴンベ墓地に対し、キンシャサに残っていた一部家族や UDPS 党員が断固反対しており、キンシャサ市当局も含め、再検討が必要というのが延期の理由(6日付 AFP 等)。
・6日、上記発表を受け、キンシャサ市当局は、ゴンベ墓地の特別区画建設に関する2月24日付州令を無効とし、同区画における建設工事の取り止めを命じた。また同日、政府は、コンゴ(民)国内における遺体の埋葬のため、法に従い、引き続き支援を行う旨のコミュニケを出した(注: 当国では、カトリック聖職者を除き、墓地以外への埋葬は禁止)。

(6)選挙・政治対話の動向

ア 12月31日の政治合意に関する個別調整の協議を再開

・16日、コンゴ・カトリック司教会議(CENCO)は、1月28日以降中断していた昨年12月31日の政治合意に関する個別調整(arrangement particulier)の協議を再開した。ウテンビ CENCO 議長は再開のセレモニーで、各党の関心ではなく国家にとっての重要性を優先することを求め、新たに始める協議では、合意の実施を遅らせるような時間稼ぎ工作などは公表することになると述べた。

イ コンゴ・カトリック司教会議(CENCO)による調停の不調

・27日、CENCO のウテンビ議長は、同日の合意署名を目指していた、昨年12月31日の政治合意に関する個別調整の調停が不調に終わったとスピーチで述べた。主な難航点は、首相の指名方法と合意フォローアップ国家評議会(CNSA)議長の選出。ウテンビ議長はまた、12月31日合意の実施に向け、CENCO は国民に寄り添うことを決定した述べ、今後も調停を継続する可能性を仄めかした。

2. 地域情勢

(1) BDK のンセミ指導者を逮捕

・4日、コンゴ(民)国家警察(PNC)は、Bundu Dia Kongo(BDK。中央コンゴ州を本拠地とする分離主義的宗教集団)の精神的指導者であるムアンダ・ンセミとその信奉者らに対し急襲作戦を実施、ンセミ指導者を確保した。同指導者に加え3名の妻と息子は司法の手に渡された。同作戦ではBDK 側から307名(男性235名、女性61名、子ども11名)が降伏、同指導者の自宅からは、機関銃やピストル等が発見された。また2日、中央コンゴ州知事は州令を出し、BDK によるすべての

活動を禁止した。

(2) 中央カサイ州チンブルで国連専門家2名が行方不明となりその後遺体で発見

・13日、バンバラ MONUSO 報道官は、2名の国連安保理コンゴ(民)制裁委専門家(Michael Sharp 氏と Zaida Catalan 女史)が、中央カサイ州チンブル(Tshimbulu、州都カナンガの南東160キロ)で12日から行方不明になっていると発表した。メンデ政府報道官によると、行方不明者の国籍は米国とスウェーデンで、モヨ川にかかる橋のあたりで誘拐され、森に連れ込まれた模様。4名のコンゴ人(バイクタクシー運転手3名、通訳1名)も同時に行方不明となった(13日付 AFP)。

・28日、メンデ政府報道官は、行方不明となっていた2名の国連専門家が遺体で発見されたと報じた。

・29日、MONUSCO は27日に遺体で発見された国連専門家2名に関するコミュニケを発表、シディク SRSG は、コンゴ(民)当局が、2名の死亡に関する徹底的な調査を行うことを確信し、国連は公正な裁きのための必要な支援を行うと述べたと伝えた。また、2名を捜索した MONUSCO 軍・警察の努力を称えるとともに、特にコンゴ(民)当局、米国とスウェーデンと MONUSCO との卓越した協同作業によって捜索活動が助けられたと述べた。

(3) 中央カサイ州での虐殺に関与した疑いで7名のコンゴ(民)国軍兵士が逮捕・告訴される

・18日、FARDC のジョセフ・ポンデ監査官は、中央カサイ州 Mwanza Lomba での虐殺に関与したとされる7名のコンゴ(民)国軍(FARDC)兵士を逮捕・告訴したと発表した。本件は、虐殺の様子を撮影したビデオが SNS で流されたことで判明した(18日付 RFI)。

(4) カムウィナ・ンサプの家族と当局が民兵らの解放とンサプの遺体埋葬で合意

・12日から中央カサイ州カナンガ市等を訪れていたラマザニ・シャダリ副首相兼内務・治安大臣は、カムウィナ・ンサプ(Kamwina Nsapu、伝統的酋長(chef coutumier)で8月に当局との交戦で死亡)を信奉する民兵らの解放と、ンサプの遺体を掘り起こして慣習に則った埋葬を行うことで家族との合意に達した。これを受け、19日午後には、カナンガ市で、複数台の警察車両に続き、喜びの歌を歌うンサプを信奉する民兵を乗せたトラックが住民によって目撃された(20日付 RFI)。

(5) 国連人権合同事務所(UNJHRO)が中央カサイ州で新たな共同墓穴10件が見つかったと発表

・22日、国連人権合同事務所(UNJHRO)は記者会見で、調査の結果、中央カサイ州で10件の新たな共同墓穴が見つかったと発表したと報じた。発見されたのは、同州デンバ地区(7件)とチンブル地区(3件)の墓穴で、既にコンゴ(民)政府に伝達された。

(6) カサイ州チカパと中央カサイ州カナンガの間で警察官42名が殺害・斬首された可能性

・25日、カサイ州議会のカランバ議長は RFI に対し、24日、カサイ州チカパ市から中央カサイ州カナンガ市に向かっていた警察車両2台が待ち伏せにあい、カムウィナ・ンサプの民兵と思われる武装集団により警察官42名が殺害・斬首された可能性があると言った。

・27日、コンゴ(民)国家警察(PNC)は本件に関し、「24日午前、PNC の警察官39名は、カムウィナ・ンサプを名乗る民兵らによって大量殺戮され、殺戮現場に近い共同墓穴に埋められた。また、2台のトラックと積み荷や治安維持のための資機材を奪われた」とのコミュニケを発表した。

3. その他

(1) EU 外務理事会がコンゴ(民)に対する新たな制裁を示唆

・6日、EU 外務理事会は、12月31日合意の実施における停滞状況、カサイ3州や中央コンゴ州における暴力の噴出と民兵らによる深刻な人権侵害、南北キブ州やタンガニーカ州における治安状況の悪化等、コンゴ(民)に関する結論文書を発表、政治的責任者や治安当局に対する新たな

制裁の可能性を示唆した。

(2) MONUSCO が12月31日合意の実施を妨げているのは「Rassemblement」の分裂と発言

・8日、バンバラ MONUSO 報道官は、昨年12月31日合意の実施やコンゴ・カトリック司教会議(CENCO)の活動を停滞させているのは、野党プラットフォーム「Rassemblement」内の分裂であるとの考えを示した(8日付 AFP)。

(3) 国連人権高等弁務官がカサイ3州の状況に関する調査委員会の設立を安保理に要請

・8日、ゼイド・ラアド・アル・フセイン国連人権高等弁務官はカサイ3州(カサイ州、中央カサイ州、東カサイ州)やロマミ州における人権侵害の状況や、発見された3つの共同墓穴等について調査するため、安保理に対し、調査委員会の設立を求めた(8日付 AFP)。

(4) エロー仏外相と CENCO が会談

・24日、CENCO のウテンビ議長とンシヨレ事務局長は仏外務省を訪れ、エロー外相と会談、同外相は CENCO への支援を表明した(24日付エロー外相ツイッター)。